



桜の里便り



令和5年度 第10号

今年度の取組を振り返り、来年度の教育活動を改善します（その2） 校長

1月30日（火）に、なわとび大会を行いました。ニコニコファミリー一班に分かれ、1年生から6年生まで、自分で決めた種目で、目標とした回数をとぶことに挑戦しました。集中して、最後まであきらめずにとび続けました。これまで練習してきた成果を発揮することができたなわとび大会となりました。

1 保護者の皆様へのアンケート結果から

さて、先号に引き続き12月に行った保護者の後期学校評価アンケートの結果から、今年度の取組を振り返ります。各項目の評価結果（肯定的評価（そう思う＋だいたいそう思う）の割合％）は、次のとおりでした。（ ）は前期の結果との比較です。児童の学習面・生活面、健康面からも評価いただきました。

● <u>学</u>	お子さんは、自分から家庭学習に取り組みましたか。	71%（±0%）
● <u>生</u>	お子さんは、家族とあいさつしましたか。	98%（10%↑）
● <u>健</u>	お子さんは、寝る時刻と起きる時刻を決めて、十分な睡眠時間をとりましたか。	85%（1%↑）
● <u>健</u>	お子さんは、メディアをやめる時刻を守りましたか。	61%（6%↑）
●	学校でのことについて、お子さんが話したり、お子さんに聞いたりしましたか。	87%（7%↓）
●	学校は、困ったことがあった時は、話を聞いたりかかわったりしましたか。	93%（1%↑）
●	学校は、学校での出来事や子どもたちの様子などを、学校だよりや学年だより、ホームページ等で伝えましたか。	91%（±0%）

2 保護者の皆様の自由記述から（◎成果、□提案、→来年度の改善へ）

また、教育活動で成果が上がっている点を、たくさん挙げていただきました。教職員にとって、大変励みになります。引き続き教育活動を進め、子どもたちの成長を目指します。次に、その一部を紹介します。

- ◎子どもが悩んでいたことに対して、学校側が動いて対応してくれていました。（1年）
- ◎ホームページで写真をたくさん見ることができ、学校での様子が知れて嬉しいです。（1年）
- ◎授業でこんなことをして楽しかったなど、家庭で学校の話をとくさんします。楽しく学校に通えていることが分かり、安心しています。（2年）
- ◎SNSの時間を守られるようになっていきます。（2年）
- ◎自分で学習時間や課題を決めて取り組むなど、自学に取り組む習慣がついてきました。（3年）
- ◎コロナ禍でできなかったPTA親子レクができ、学校での様子も分かり、良かったです。（3年）
- ◎先生が子どもに寄り添ってくださり、感謝しています。（4年）
- ◎算数の授業を2クラスですること、先生が目が届きやすくなると思うのでありがたいです。（4年）
- ◎先生からの励ましのおかげで、自主性が芽生えてきています。（5年）
- ◎学校でのクラスメイトとのかかわり方が落ち着いてきていると思います。（5年）
- ◎様々な取組を考えていただき、児童も良い経験ができていますと思います。本人も学校に行くのが楽しいと言っており、学校の雰囲気は良いのだと感じています。（6年）
- ◎宿題以外の家庭学習内容を、自分で考えながら取り組めるようになってきました。（6年）

また、ご意見もいただきました。次の3点について、以下のとおり対応いたします。

- リーバーによる連絡を、異常ありの時だけ連絡するというやり方は、実現可能でしょうか。（4年）
 - 今年度後期より、欠席や連絡のある時にだけリーバーで連絡する方法に変更しています。今後もそうようにご対応願います。
- 行事の写真販売や発表会のDVD販売を検討してほしいです。（2年）
 - 教職員が行事の写真やビデオを撮影しています。子どもたちの活躍の様子を記録し、全体の動きや流れを振り返ったり、ホームページ等で保護者や地域の皆様にお知らせしたりするために活用しています。ですので、写真やDVDの販売までは考えておりません。運動会や学習発表会等、行事の際、保護者の方がお子様の様子を撮影し、ご家庭で見ていただくことは可能ですので、必要の方は、各ご家庭でご対応ください。

□そろそろ全員で給食を食べてもいいのではないのでしょうか。（4年）

→ 来年度より、3～6年生は食堂で給食を食べます。1・2年生は引き続き教室で食べます。

食事のマナーを身に付けたり、給食の配膳・後片付けをスムーズに行ったりするなど、1・2年生は教室で、学年の実態に応じて給食指導をするためです。3～6年生は食堂で、1つの机に4人程度が座り、間隔を保ちながら給食を食べる方法に変更します。食事のマナーを守って、みんなが楽しく会食できるように指導していきます。衛生面や健康面から、給食の配膳時にマスクを着用することや、食事時に大きな声での会話は控えることは、継続します。

3 今年度の教育活動の成果と課題、来年度の取組について（◎と○成果、▲課題、□提案）

今年度の取組を、成果と課題としてまとめ、来年度の教育活動を、次のとおり継続・改善します。

(1) 重点目標について

◎3つの項目の平均は、児童評価で前期・後期ともに95%でした。「自分で決めて 仲間とともに 高め合う」子は、1年をとおして90%以上の高い評価となり、昨年度の評価も上回りました。教育活動を充実させて実施できたこと、児童同士がかかわり合って高め合う関係を築くことができたことなど、児童が満足感や達成感、自己有用感を感じ、その姿に成長や向上が見られました。

→ □重点目標に向けた取組は、成果を上げています。来年度も今年度の取組を踏まえ、さらに取組を充実させて、児童一人一人の心身の成長を図ります。

(2) 学習面について

◎児童の学習態度は、学習のルールが身に付き、「集中して聞く、進んで話す」など、良好です。1年をとおして90%以上の高い児童評価となり、昨年度の評価も上回りました。「児童の聞く態度は身に付いてきている。導入の工夫や単元のゴールを示すことで、意欲を高めて取り組む児童が多い」等、教職員も児童の学習に向かう姿勢はよいと感じ、これまでの取組の成果ととらえています。

◎「授業の内容が分かった」児童は、1年をとおして児童評価で90%以上、1～6年生の国語・算数のワークテストの正答率も80%以上となり、児童は概ね学力を身に付けています。

→ □来年度は、児童が身に付けた知識や技能を基礎として、さらに児童の思考力・判断力・表現力を伸ばしていきます。児童が実感を伴って理解を深めるよう、教職員が表や図、具体物などを使って授業を進めるなど、工夫して指導します。

▲ただし、学習に対して集中力が続かず、最後の課題を解決する学習にまでいかない児童もいます。

→ □来年度は「最後まで注意深く読む、聞くとはどういう姿か」、教職員が児童へ具体的に伝えたり、取組を定期的に振り返ったりして、児童の集中力が続く工夫を重ねます。

○家庭学習は、1年をとおして児童評価が89%、保護者評価が71%であり、前期よりも後期の評価が上回りました。一昨年度から課題として取り組んできており、昨年度よりも評価がさらに向上し、成果に結び付けました。

▲ただし、依然として保護者評価が目標に達しておらず、今一步です。

→ □来年度は、向上してきた現在の取組を続け、さらに児童の家庭学習の定着を図ります。家庭と連携して、今年度成果のあった「自分で決めて課題に取り組む学習」を続けます。

(3) 生活面について

◎「学校が楽しい」児童は、1年をとおして90%以上の高い児童評価となり、ほとんどの児童が学校生活を楽しみ、「自分は頑張った、成長した」児童も、1年をとおして90%以上と、満足感や充実感を感じている児童がほとんどです。「行事後に自己の取組を振り返ったり、仲間の頑張りを伝えたりしたことで、児童が自分の頑張りが成長を自覚できた」と、教職員もとらえています。

○あいさつは、児童評価で「相手が気持ちのよいあいさつ」が89%、保護者評価「家族とのあいさつ」が93%と、昨年度の評価を上回りました。「相手に聞こえる声であいさつ、相手の目を見てあいさつ」など、生活委員会のあいさつ運動や全校児童への働き掛けもあり、この成果に結び付けました。

→ □来年度は「よいあいさつとは」を、いろいろな見方から考えたり価値付けしたりして、児童にあいさつの意義が感じられる活動を工夫していきます。

◎仲間とのかかわりは、児童評価で「自分は頑張った、成長した」が92%、「相手を考えて行動した」が98%と、1年をとおして90%以上の高い評価となり、昨年度の評価も上回りました。「ニコファミ班活動で、児童は仲間の良さや頑張りをを見つけようとしていた。仲間に優しくし、仲良くする大切さは、児童に浸透してきている。相手を尊重する姿が見られた」と教職員もとらえています。

▲ただし、児童の自発性が乏しい実態が残ります。児童が自分で決めて活動し、やり切ったと感じられる体験が必要です。

→ □来年度は、学級活動や児童会活動などで、自分たちで考えて決め、自主的に活動する機会をつくり、児童の自発性を高めていきます。児童会活動では、各学年児童の実態に合ったためあてを設け、それを教職員が評価することで、児童の成長につなげていきます。

(4) 健康面について

◎体力づくりは、児童評価で89%と、昨年度の評価を上回りました。児童は授業や休み時間そして家庭で、体を動かす機会をつくっており、体力の向上につながっています。

◎睡眠時間は、児童評価で89%、保護者評価で85%と、昨年度の評価を上回り、取組が向上してきました。十分な睡眠時間をとって、ほとんどの児童が健康に学校生活を送っています。

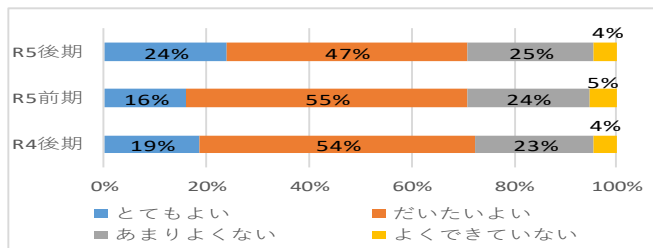
▲メディアコントロールは、児童評価で80%、保護者評価で58%と、昨年度の評価を上回り、取組が向上してきました。保護者のメディアルールに対する意識が高まっています。ただし、保護者の評価が目標に達しておらず、今一步です。

→ □来年度は、向上してきた現在の取組を継続し、さらに児童がメディアをコントロールして生活する力をさらに高めていきます。また、依然として児童と保護者の意識に差があり、家庭でのメディアルールを親子で確認するなど、働き掛けを続けていきます。

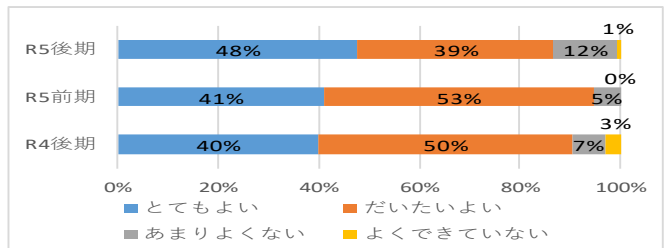
□成果の上がっている今年度の取組、①新入生体験入学での保護者向けメディア講座、②学習公開での親子メディア講座、③学校保健委員会でのメディアに関する話し合い、④年2回の健康強調週間でのメディアコントロールの取組を、来年度も実施します。

令和5年度 後期学校評価アンケート(保護者) 集計結果

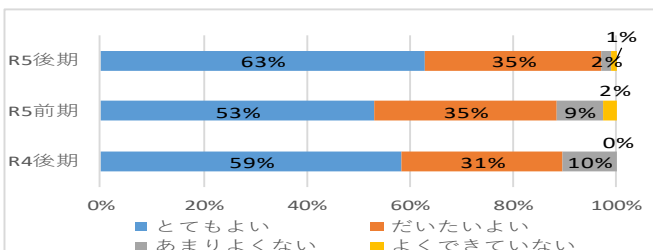
1 お子さんは、自分から家庭学習に取り組んでいますか。



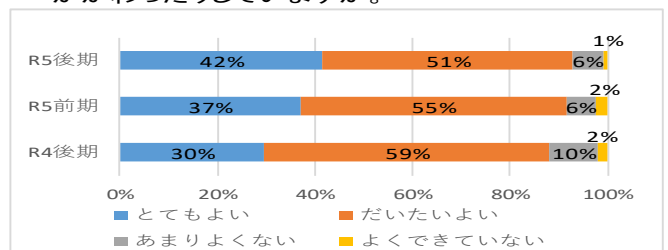
5 学校でのことについて、お子さんが話したり、お子さんに聞いたりしていますか。



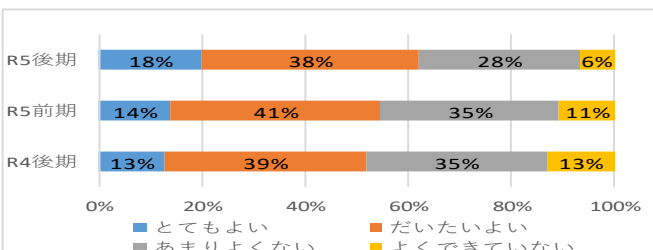
2 お子さんは、家で家族とあいさつをしていますか。



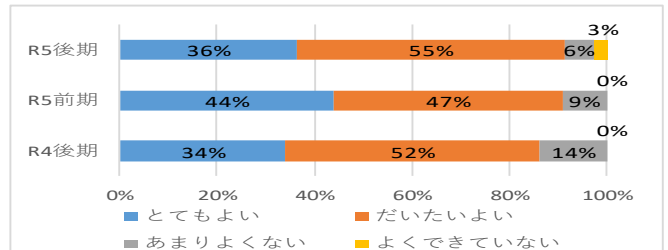
6 学校は、困ったことがあった時は、話を聞いたりかかわったりしていますか。



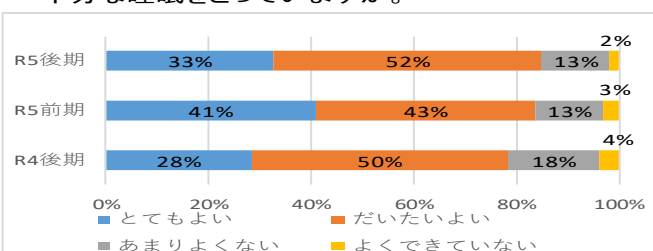
3 お子さんは、メディア(テレビ・動画・SNS・ゲーム等)をやめる時刻を守っていますか。



7 学校は、学校での出来事や子どもたちの様子などを、学校だよりや学級だより、ホームページ等で伝えていますか。



4 お子さんは、寝る時刻と起きる時刻を決めて、十分な睡眠をとっていますか。



(5) 学校の取組について

◎保護者評価で、家庭での会話が91%、学校の寄り添った対応が93%、学校の広報が91%と、どの項目も90%以上の評価であり、昨年度の評価も上回りました。親子で学校の出来事を話している実態が分かり、教職員は学校での出来事や児童の様子が分かるように、保護者や地域へ伝え、学校では児童に寄り添ってその成長を促してきたことが、評価に表れました。

2月16日(金) 1・2年生そい遠足

1年 女子

雪がなくて、芝そりグレンデを滑りました。高いところから勢いよく滑りました。スピードが出て楽しかったです。

1年 女子

最初は坂の途中で止まって、うまく滑れませんでした。いっぱい滑ったら、上手になりました。そりの一番後ろに座ると、下まで行くことができました。



越後丘陵公園へ
行ってきました！



2年 男子

雪が少なく、芝そりだったけれど、スピードがけっこうでて楽しかったです。またそり滑りに行きたいです。

2年 男子

芝そりグレンデでそり滑りをしました。芝のところはあまり滑らなかったけれど、雪のところはすごく滑って、楽しかったです。そり滑りの後にした雪合戦も楽しかったです。

【令和6年能登半島地震 災害義援金】

全ご家庭から主旨にご賛同いただき、ありがとうございました。日吉小学校PTAとして、12,300円を災害義援金として送りましたので、ご報告いたします。

子どもたちの活躍～おめでとうございます～

- 令和5年度柏崎市教育委員会表彰 4年 男子:新潟県ジュニア展覧会
- 6年 男子(柏崎 STARS):野球競技
- 風のいろ17号 俳句の部 特選 4年 女子
- 短歌の部 入選 5年 男子 5年 女子
- 第31回 新潟県小学生バレーボール新人大会 柏崎地区大会 優勝 刈羽 JVC・A 5年 女子
- 第27回 柏崎しんきんカップミニバスケット新人大会 優勝
- 5年 男子2名 4年 男子
- 日本海カップU7 準優勝 柏崎フットボールクラブ 1年 男子2名
- 第35回 柏崎小学生シングルス大会 1・2年生シングルス 3位 1年男子